

【495】

令和4年9月

菟田港（本港地区）航路整備に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、菟田港本港地区航路のトレンチ浚渫工事中における航行船舶および工事作業船の航行安全対策について調査・検討した。

当該航路は、現在、水深10m、幅員250m(一部は水深12m、幅員200m)で暫定供用中であるが、潮汐等による海底土砂の巻き上げによる埋没現象が起きやすい環境にあることから、埋没対策として北側航路法線に沿って水深13m、幅30mのトレンチ浚渫を施工するものである。

調査・検討にあたっては、潜水探査作業と浚渫工事の施工計画を基に、自然環境および海上交通の実態と可航水域の関係などの航行環境を整理し、必要な課題を抽出して安全性の検討を行った。

安全性の検討では、先ず港内の航行環境と利用状況を確認して潜水探査作業と浚渫工事における作業範囲について検討した。本整備工事における作業範囲は、菟田港に入出港する船舶の航行経路となる航路内であり、工事施工中は航路幅員が減少し入出港操船に影響があることから、主に水深と喫水の関係から対象海域での迂回通航の可否、行会い調整・回避、作業船の退避等の安全対策について検討した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 委員会等
- (3) 整備計画
- (4) 航行環境
- (5) 施工時の安全性の検討
- (6) 安全管理体制
- (7) 航行安全対策